

## e-Learningを活用したアクティブラーニング

平成24年度より四国の国立五大学は、大学連携e-Learning教育支援センター四国を設け、e-Learningによる授業の共同実施を進めています。これまで、科目の共同実施の制度の整備や、コンテンツの質の統一を進めて来ました。今後、e-Learningを使った授業の質保証が、重要な課題となっています。また、フルオンラインによる自学自習形態から、コンテンツを用いたブレンド型の授業等、授業の多様化も想定されます。

近年、学習者が主体的・協働的に学ぶ学習（いわゆる「アクティブラーニング」）の重要性が指摘されています。本シンポジウムでは、フルオンライン型授業においても学生が主体的・協調的に学ぶためにはどうすればよいか、科目や学生の特性に応じたe-Learningの活用方法はあるのか、e-Learningと対面授業とをどうブレンドすることが最適かなど、「e-Learningを活用したアクティブラーニング」について、5大学のe-Learningの実務担当者が登壇し、実践としての側面から、会場の皆様を交えて本音での議論をしたいと思います。

### コーディネータ

村上 正行 （京都外国語大学）

### プレゼンター

村井 礼 （香川大学）

宮下 晃一 （鳴門教育大学）

金西 計英 （徳島大学）

立川 明 （高知大学）

田中 寿郎 （愛媛大学）